

受付番号	3	受付月日	11月14日
			午前・午後10時00分

東郷町議会議長 箕浦 克巳 殿

東郷町議会議員

議席番号 9番 氏名 水川 淳 ㊟

## 一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式）一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3 - 1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 道の駅について	<p>道の駅をテーマとしたタウンミーティングの全日程終了した機に、本町の道の駅構想事業の方向性をうかがう。</p> <p>(1) 中止と決定か。</p> <p>(2) タウンミーティングにおけるどの意見が、今般の決定の決め手（参考）となったのか。</p> <p>(3) 道の駅構想推進事業費として平成29年度補正予算11,740千円の繰越明許が計上され、当該議案に当時の議員として町長は賛成の立場を採っている。この予算は、推進のプロセスとして計上されているものであるが、効果・成果をどのように町民に説明をするか。</p> <p>(4) 事業に関する情報について、今まで示されていた情報と、今回新たに示された情報のおもな差異は何か。また、今まで示されていた情報の中で「誤った情報」として訂正したものはあるか。</p> <p>(5) 検討書に示されている、整備の必要性や効果に期待している声には、今後どのように向き合い、応えていくのか。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
2 町民からの意見の集約について	<p>道の駅をテーマとしたタウンミーティングが実施された。町政への関心が高まり、情報の柔軟な共有がはかれるタウンミーティングは大いに歓迎するものである。しかし、町民の声は多様であり、その集約の手法も様々である。単一の手法をもつての「民意（東郷町民の総意）」との判断や、重要事案の決定判断には慎重さを求められるものである。それぞれの手法の利点課題を明らかにしながら、その活用方法について共通理解を得ていきたい。</p> <p>(1) タウンミーティングについて</p> <p>① 10 月末から 11 月にかけて実施されたタウンミーティングの参加者数は何人だったか。</p> <p>② 前町長が最後に実施した「なんでも懇談会」の実施状況はいかがであったか（実施時期・参加者数など、今般のタウンミーティングと比較可能な数値と一致点・相違点を含め）。</p> <p>③ テーマを決めて実施されていた「まちデリ会議」の実施状況はいかがであったか（実施時期・参加者数など、今般のタウンミーティングと比較可能な数値と一致点・相違点を含め）。</p> <p>④ テーマを決めて実施していた「まちデリ会議」を「なんでも懇談会」にあらためた経緯・理由と、「なんでも懇談会」を終了した経緯・理由はそれぞれなにか。</p> <p>⑤ 今後のタウンミーティングのスタイルと、ねらいについてはどのように考えているか。</p> <p>(2) アンケート調査について</p> <p>① 今回のケースを鑑みると、アンケート調査がタウンミーティングより軽んじられていると感じる町民もいるが、タウンミーティングとアンケート調査の違いを問う。</p> <p>② アンケート調査の回収率向上のためには、その声を十分に重んじ尊重していると回答者に感じていただける対応が求められるが、今後の方策を問う。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>(3) パブリックコメントについて</p> <p>① 道の駅に関しては、パブリックコメントに非常に多くの批判的意見が寄せられているが、パブリックコメントはどのような取り扱いがなされるのか、アンケート調査やタウンミーティングとの差異も含めて問う。</p> <p>(4) 議員の声について</p> <p>① 議員は、住民の声に耳を傾け、その中から課題や問題点を拾い出し、行政に対し声を発しているが、先に示したその他の手法との差異も含め、その取扱いについて問う。</p> <p>(5) 今回のタウンミーティングで、より積極的な情報発信や町民の声の集約を求める声が寄せられたが、その声にどのように応えていくのか。今回の質問で示したそれぞれの手法ごとに対応を問う。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。